

奈良 ESD コンソーシアム 平成 28 年度第 8 回「学ぶ喜び・ESD 連続公開講座」

文責 藤井愛華

板口咲希



- 日時：2016 年 12 月 14 日 19 時～20 時 30 分
- 参加人数：現職教員 5 人、学生 26 人、計 31 人
- 講師：奈良教育大学 教育学部 地理学研究室 准教授 河本大地先生
- 内容：「地域資源の探し方 活かし方」

《導入ワーク》

(資料を使用して) 各自奈良県内の市町村を地図に書き込む。

(同じく) さらにおもな河川を書き込む。

3～4 人のグループで自己紹介と意見交流を行う。

(インターネット) 国土地理院地図

奈良市、生駒、大和郡山、天理、十津川などはかけている人多い。

吉野の位置にばらつき、十津川の上の村がかけていない。

奈良の自然について

奈良には 4 つの水系がある。(吉野川、大和川、熊野川、淀川)

→自然的に 4 つの地域に分かれる (きちんと教えられていないのではないか)

《人口減少について》

(資料 2 ページ) 初の人口減少とは言うが、むしろここ 200 年くらいが異常ともとらえることができる。日本の人口が減っていくのは昔に戻っていくという点において自然なことともとらえられるかもしれない。

I. 昔と違う重要事項

1、社会が高齢化している。

2、人口分布が全く違う。[ここ数年で人口が増えているのは、都心部及びその付近の郊外（都心回帰という）宮城県の仙台市とその周辺で海沿い（5年間で10%減、福島原発の付近100%減）[関西で人口が増加している場所は限られている（吹田、神戸）。奈良（減少している）上北山村においては5年間で25パーセント減。]

3、グローバル化

4、ここまで急激な長期的な人口減少を日本は今までに経験したことがない。

これからの子どもたちはこの急激な人口減少が前提。（私たちとは違う環境）

人口減少していた山間部は、先にこの急激な人口減少を経験している先駆地。この地域に学ばなければならない。

II. 安直な解決策が出てくる。

1. 移民を受け入れよう（ありだとは思いますが仲良くできることが大前提である。今の日本では難しくなっているのでは？）

2. コンパクトシティ化

合理的（インフラの整備の面、サービスの効率化）

Ex. 高齢者二人だけの集落、道路整備など

★これらをするると三つの問題。

① 災害のリスク

Ex. 東北津波被害を受けた地域

丘陵地の里山を切り開き高台に住宅地の整備

海側に高台を作っている（がしかし、その後何になるかは決まっていない。住宅は作らず商業施設などの設置を検討している。住宅から離れた地で商業が発展できるのだろうか。）

数メートル、10メートル以上の場所もある堤防を作っている。

② 自然の中で生かされている。自然に即した暮らしがその場その場にある。

③ 一部の地域の優遇しようとする

《地域の活かし方》

III. 地域にとって必要なこと

1. 相互承認助け合い

地域同士で助け合い、普段からシステムとして組む、必然性が必要
津波が来る地域でも承知で住む人々の意志の尊重（＝承認）

Ex. 阪神淡路大震災；水が豊富なところが飲料水提供

→必然性

Ex. 美しい村同士で修学旅行行き合う

ネットワークを常に働かす

地域比較の基盤づくり→農山漁村に優位性（土地利用が見えやすい）

(ア)被災地、減災・防災

ハザードマップを読みこなす学習ツアー、被災地の知恵と技を学ぶ（神戸被災地学習ツアー等）、火山（近畿地方には火山ない）（Ex. 雲仙普賢岳：ジオ）

(イ)自然の恵みを知る

ジオ、ローカル色あふれる食文化、水資源・土地利用、小地名・その地に根付いた知識・経験、鉱山・施設跡に注目

(ウ)レイヤー

- 地域をレイヤーで見よう！ レイヤー（＝層）
企業のもの（GIS）→水がどう流れているか＋土地利用の境界線＋道路網＝重ね合わせると見えてくるもの（Ex. 海岸線と活断層と浸水域→活断層と活断層の窪み、土砂崩れが起きそうなところ）
行政のものも使用（ガスがどこを走っているか、福祉産業、サービス）
- わたしたちのまちをみてみよう！（グループワーク）
小学校：「地域のどこに何がある」を調べて地図を重ねる、危険な場所
→地域・先生差
中学校：ならめぐり（世界遺産）、土地利用（古い地図を比べる）
→地域の学習あまり受けたことがない

(エ)使えるウェブサイト&フリーソフト

- 地理院地図（国土地理院）→アナログ以上にカラフルに、縮尺で世界地図に拡大、様々な画像や色を変えられる、昔の空中写真、活断層図
- 地理教育の道具箱（国土地理院）→教育現場で活用する白地図、基盤地図情報、明治時代からの地図（旧藩地図）、空中写真閲覧、高解像度表示
- 今昔マップ→昔の地形図と現在を同時比較
- ハザードマップポータルサイト→各市町村作成のハザードマップ閲覧可能、レイヤー重ねる、緊急輸送道路
- 地域経済分析システム（RESAS）→「リーサス 地理」で検索

(オ)インターネット上にはない大事なこと

- 地域の自然に即した暮らし→その在り方に共通性（ローカルな部分とグローバル

な部分の共通点 Ex. 日本の地域の暮らしとネパールの地域の暮らし)

(カ)地域の外に届ける発信力を鍛えよう！

- 全国高校観光選手権→自分たちの地域をアピール、小学校でも実践できる
ターゲットを明確に決め、集客が狙えるかが大事！
地域の学びをローカルでとどめてはだめ、
グローバルにつなげる、国連 (SD ジーズ)

(キ)お誘い

- 各学校の地域学習はまとめられていない、紹介し合うことがあまりない
- 事例：ESD カレンダー
年次計画、学びの内容がどのようにリンクしているかを明確化
→他学校の地域学習に当てはめてみよう！